

鈴木 悠太

Web Full-Stack / Cloud & DevOps Engineer

📍 神奈川県 ✉ hinapupil@gmail.com 🌐 hinapupil.com 📄 hinapupil 🔄 hinapupil

学歴

学士 千葉工業大学, 情報科学部 情報ネットワーク学科

Apr 2017 - Mar 2022

職務要約

フリーランスとして、AWS インフラ構築 (Terraform) ・バックエンド API 開発 (NestJS) ・DevOps を担当。前職では、AWS CDK による IaC 化や CI/CD 整備を軸に、スクラム開発チームでテックリード的に技術面の相談・環境構築・コードレビューを担いつつ、Next.js でフルスタック開発を推進した。

過去には組込 (C/C++) ・Web (PHP/CakePHP) の設計〜結合テストを経験し、近年はクラウド基盤・生成 AI 関連 (Azure OpenAI Service 閉域化、Chat Completions API を用いた VS Code 拡張機能) も担当した。

趣味

小説を書いており、自費出版して文学フリマで頒布の他、[自分のサイト](#) (Astro.js, Netlify) を作成し公開している。ゲーム制作サークルに所属し、[最新作](#) (TyranoScript) では実装を担当、現在制作中の[次回作](#)ではシナリオを担当している。ゲームの背景に使用するための[画像加工アプリ](#) (Python, Flet, OpenCV) も自作した。

スキル

職種: ソフトウェアエンジニア (Web フルスタック / クラウド / DevOps、組込経験あり)

得意領域: AWS CDK による IaC、CodePipeline/CodeBuild 等による CI/CD 整備、Web 開発

OS: Windows 10, Linux, MacOS

言語: TypeScript, Python, Bash, C/C++, PHP

DB: PostgreSQL

フレームワーク: Next.js, NestJS, React, Astro.js, Nuxt.js, Laravel

クラウド / DevOps: AWS (CDK, CodePipeline/CodeBuild, Lambda, API Gateway, Cognito など) , Azure (Azure OpenAI Service, VPN Gateway) , Terraform, Docker, Git

その他: Claude Code, Codex, Redmine, ChatGPT, Visual Studio Code

資格/認証

- 2022-02 : 普通自動車免許
- 2025-02 : AWS Certified Cloud Practitioner
- 2025-03 : AWS Certified Solutions Architect - Associate
- 2025-06 : AWS Certified Developer - Associate
- 2025-07 : AWS Certified SysOps Administrator - Associate
- 2025-07 : AWS Certified AI Practitioner
- 2025-08 : AWS Certified Machine Learning Engineer - Associate
- 2025-09 : 情報セキュリティマネジメント試験 (SG)
- 2025-11 : G 検定

英語

- ・ 会話：業務は日本語中心。必要時はテキストで対応
- ・ 読解：英語ドキュメントを参照しながら調査・実装が可能
- ・ 作文：辞書・翻訳ツール・生成 AI を併用し、報告書やメール作成が可能

職務経歴

- フリーランス, ソフトウェアエンジニア** Mar 2026 – present
- 技術系人材サービス企業, ソフトウェアエンジニア** Apr 2022 – Mar 2026
受託/社内 PJ で、組込ソフト・Web アプリ・クラウド基盤・生成 AI 関連の開発に従事。

プロジェクト経歴

- デジタル証明基盤のバックエンド・インフラ開発** Mar 2026 – present
- ・ デジタル証明サービスのバックエンド API 開発および AWS インフラ構築・DevOps を担当
 - ・ AWS, Terraform, NestJS, Claude Code
- 大規模 EV 充電プラットフォーム開発** Aug 2024 – Mar 2026
- 体制：約 20 名、長期（2 年規模・継続）
- ・ 大規模な EV 充電プラットフォームのオンプレミスシステムをクラウドリフト・クラウドシフトする案件に参画し、その後のクラウドネイティブでの新規機能開発に従事している
 - ・ 1 時間半ほどかかっていた手動デプロイから、CodePipeline/CodeBuild による CI/CD 基盤を整備し自動デプロイを実現した（リリースの手間の削減・承認以外の対応時間を 0 へ削減）
 - ・ AWS CDK で IaC 化し、災害時の復旧や検証/ステージング環境の迅速な立ち上げを可能にした
 - ・ スクラム開発チームで、テックリード的に技術面の相談・環境構築・コードレビューを担いつつ、フロントエンド/バックエンド API 開発を担当している
 - ・ Next.js（App Router / API Routes）, Drizzle, TypeScript, Node.js, Tailwind CSS, Laravel, PostgreSQL, Bash, Docker, AWS CDK, Cognito, API Gateway, Lambda, S3, CodePipeline, CodeBuild
- 開発実績閲覧サイト** July 2024 – Sept 2024
- 規模：6 人で 3 ヶ月
- ・ 自社の開発実績をお客様に紹介・説明するためのサイト
 - ・ 技術選定、環境構築、設計、各メンバーへ割り当てるチケットの作成、実装などを担当
 - ・ Nuxt.js, PostgreSQL, Docker
- Azure OpenAI Service 閉域化** June 2024 – Dec 2024
- 稼働：週 1～2 日程度（約 5 ヶ月）
- ・ 既存の OpenAI API で動いているシステムを Azure OpenAI Service に置き換えた上で閉域化するクラウドネットワークの構築を担当
 - ・ 調査、クラウドネットワークの設定・構築、構築手順書の作成をした
 - ・ Azure VPN Gateway, Azure OpenAI Service, Gitea Actions

画像処理システム Web 機能追加開発

Apr 2024 – July 2024

規模：3人で5ヶ月

- 既存の画像処理解析システムの WebView 部に対するペイント機能の追加を担当
- 画像処理部分のプログラミング・単体テスト、Python を用いた RPA による耐久テスト、引継ぎ資料作成
- React, TypeScript, Python, Gitlab

OpenAI API を用いたチャットアプリ

Jan 2024 – July 2024

規模：1人、期間としては6ヶ月だが、薄く実施したので実工数としては1ヶ月ほど

- 社内PJとして、プログラミング支援のための OpenAI API を用いたチャットアプリ（Visual Studio Code 拡張機能として動作）を企画し、開発を担当した
- 何人か使用していただき、好評を得た
- Visual Studio Code, Node.js, TypeScript, HTML/CSS, Redmine, Git

連動グラフの試作

Dec 2023 – Mar 2024

規模：対応期間約2か月、リーダー1名、メンバー1名

- [Visualizing MBTA Data](#) を参考とした連動グラフの試作を開発メンバーとして設計～試験まで担当
- D3.js, HTML/CSS, Apache, Redmine、Git

決済端末の組込ソフトウェア開発

Mar 2023 – Apr 2024

規模：対応期間1年・リーダー1名、メンバー9名

- 鉄道・バスなどに搭載される決済端末の組込ソフトウェアの開発
- 開発メンバーとして外部機器とのIFコントローラ部の設計・実装・単体テスト、決済通信部のバグ修正・結合試験などを担当
- 複数の交通事業者様にご使用いただいている
- C/C++, GCC, WSL2, Redmine, Git

業務管理用 WEB システム開発

Nov 2022 – Nov 2023

規模：対応期間1年、リーダー1名、メンバー6名

- 大手通信会社様の社内業務管理システムの改修・新規機能開発にメンバーとして参画し、PHP→CakePHP への移行、既存機能の改修、新規機能の追加、ドキュメント作成などを担当
- PHP、JavaScript、jQuery、PostgreSQL

鉄道自動改札機の単体テストの改修

Oct 2022 – Dec 2022

規模：対応期間約3ヶ月、リーダー1人、メンバー4人

- 開発メンバーとして、提示された試験仕様に従ってC言語でテストコードを作成し、試験仕様の妥当性の確認後、試験を実施
- C, GCC, WSL2, Redmine, Git